

一目で分かる！

平成22年度 政策評価結果の概要



政策の評価

市基本計画に掲げる26の政策について、AからEの5段階で評価

- A評価が3政策（学校教育、生涯学習、大学）、B評価が16政策、C評価が7政策
- 昨年度に比べ、A評価の数が1政策（観光）減少し、B評価は2増1減で1政策増加、C評価は1増1減で同数

ポイント

<評価が上がった政策>

市政改革(330) (H21) C → (H22) B

- ・ 客観指標総合評価がb評価からa評価へ上がりました。
〔京都未来まちづくりプラン（行財政改革・創造プラン）に掲げる全ての項目の着手、市民活動総合センターの入館者数の増加〕
- ・ 市民生活実感評価がd評価からc評価へ上がりました。
（「市民や行政が力を合わせて取り組む機会が十分ある」と考える市民が増加）

A・a：目的が十分達成されている
B・b：目的がかなり達成されている
C・c：目的がそこそこ達成されている
D・d：目的があまり達成されていない
E・e：目的が達成されていない

<評価が下がった政策>

～経済不況や新型インフルエンザの影響による入洛観光客や施設利用者数等の減が大きく影響～

観光(222) (H21) A → (H22) B

- ・ 客観指標総合評価がa評価からc評価へ下がりました。
〔入洛観光客の減少に伴う観光消費総額、海外からの宿泊客数、コンベンション開催件数等の減少〕

青少年(224) (H21) B → (H22) C

- ・ 客観指標総合評価がa評価からc評価へ下がりました。
青少年活動センターの利用者数、同センター事業ボランティア数の減少

施策の評価

市基本計画に掲げる106の施策について、A～Eの5段階で評価

- A評価12施策、B評価55施策、C評価34施策、D評価5施策
- 昨年度に比べ総合評価が上がった施策は16施策、下がった施策は19施策
- うち、A評価に上がった4施策は、環境・文化・大学分野の関係施策
BからD評価に2ランク下がった2施策は、国際交流・産業分野の関係施策